

国際日本学研究院ワークショップ 巨大伝統都市の比較史

—近世日本とオスマン朝の都市内地域社会をめぐって—

1980年代から日本近世都市史研究の第三波が本格化し、政治的国家と都市との関係を重視した第二波の研究とは異なり、専門家は都市の構造実態に目を向け始めた。つまり、都市住民の個性的な社会的結合に注目しつつ、研究者は都市を解剖し、都市社会を構成する諸要素を個別具体的に把握するとともに、都市の全体構造におけるそうした要素の位置付けを解明しようとした。そのさい、近世都市の基本的な社会集団である「町」および「町」の歴史的存在形態を規定した地域社会構造が分析対象とされ、パズルを解くように、複層しつつ都市全体の存立を担保した小社会が一つ一つ明らかにされ、近世都市社会の全貌が把握されるに至った。

本ワークショップでは、その成果を踏まえつつ巨大伝統都市の比較研究を試みたい。具体的には、江戸/東京・大阪とイスタンブルの歴史的成熟を内在的に規定した小社会に注目しつつ、比較都市史研究を行う上での方法論的課題や問題点を浮かび上がらせたい。これらの報告と討論を通して、都市内地域社会論という視点から、世界史的な視野で、日本とオスマン帝国の巨大伝統都市の構造的特質について共同で議論する場としたい。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2022年2月4日（金）

場所：Zoom方式利用

◆第Ⅰ部 15：30～17：00

趣旨説明：ジョン・ポーター氏（東京外国語大学准教授）

報告：守田まどか氏（アジアアフリカ言語文化研究所）

「近世イスタンブルの街区と都市社会史研究」

呉偉華氏（大阪市立大学大学院文学研究科）

「近世大阪の個別町と株仲間—道修町三丁目文書から—」

◆第Ⅱ部 17：10～18：30

報告：小美濃彰氏（東京外国語大学）

「神田橋本町における江戸—東京の「近代化」と社会＝空間構造の再編」

ジョン・ポーター氏

「幕末江戸の場末門前町と身分的周縁—乞胸の龍光寺門前への強制移住を事例に—」

第Ⅰ・Ⅱ部 司会：池田真歩氏（北海学園大学）

【申込方法】申込フォームのリンク先より、事前申し込みをお願い致します。お申し込みをされた方に、各回前日までに、Zoomミーティング情報をお送りします。

【申込フォーム】
<https://forms.gle/z94Vsza5MPRmYf1A>

